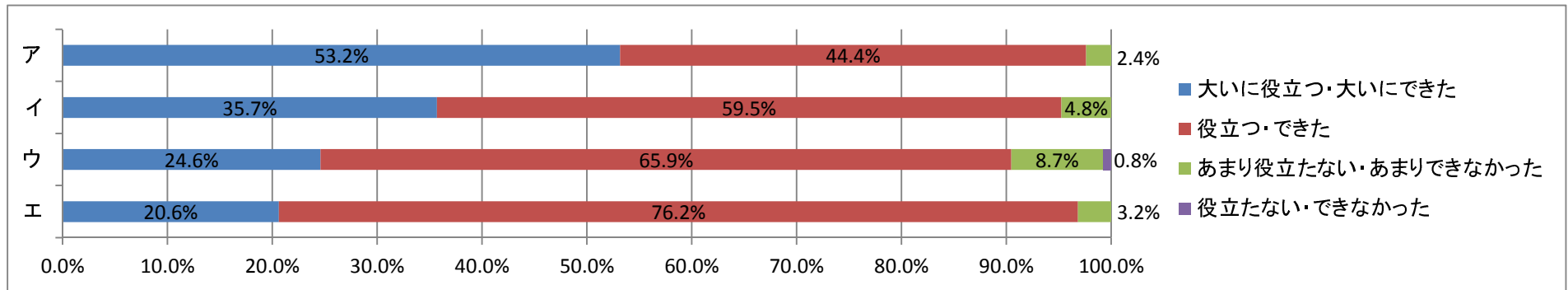


平成 27 年度広島県公民館等職員研修会 アンケート集計

<質問内容>

- ア：「講演の内容は理解できましたか」
- イ：「講演の内容は、職務に役立つものになりましたか」
- ウ：「分科会のグループワークでは、自分の取組や考えを発言することができましたか」
- エ：「分科会の内容あるいは、グループワークの手法は職務に役立つものになりましたか」



<振り返りアンケートの記述から>

天野先生の講演について

- 被災地でのお話ではあったが、そういう時こそ社会教育の重要さがよく分かりました。日頃から公民館が目指すべきものを改めて思い知らされました。
- 交流の場の提供と自治活動の促進を目指して、日々の勤務に励みたいと思います。
- いざ災害が起きたときに、普段準備している以上のことはできないという言葉に考えさせられました。普段から地域のコミュニティを強くしていきたいです。
- 実際の体験を通した話を聞くことができ、分かりやすかったです。避難所の運営方法は、他にも生かせるものだと感じました。
- 普段の社会教育事業と防災はちょっと別のものと考えていましたが、同じものなのだとよく分かりました。

分科会について

- 公民館等お役立ち情報を企画講座の1つの手法として利用してみたいと考えました。定期講座の実践からいずれは応用した講座を企画できるようにしたいです。
- ワールドカフェという方式を知らなかったので、館に帰ってプログラム改善のために自身のプログラムについての意見を聞いてみようと思いました。
- 土台となるプログラムを用意しておいて、それについてのリデザインをする演習から学習プログラムの作り方について学べたのが良かったです。
- 防災に関わって取り組むべき優先順位付けも含めて、このようなやり方は初めてで、新しい感覚で意見を出せる手法として様々な取組に活用できると思いました。

研修全般について

- 他市町の職員の方と話ができて新鮮でした。様々な地域の話が聞けて、楽しく希望が持てました。
- 学習プログラムの立案が特に役に立ちそうです。他の方の考えも聞けてとても参考になりました。
- 地域課題や要望に対応した学習プログラムの作成に今日の研修内容を生かせればよいなと思いました。